

第 31 号

平成27年 9月11日

発行 宮城県多賀城  
高等学校同窓会  
翔 朋 会

ごあいさつ

翔朋会会長  
及川佳洋



今年は例年になく暑い夏でした。その夏もようやく暑さのピークを過ぎたと思われますこの頃ですが、会員の皆様にはますますご健勝で各方面にご活躍のこととお喜び申し上げます、また日頃より本会の活動につきましても何かとご支援ご協力をいただきますことを御礼申し上げます。

さて、昭和五十一年四月に開校した母校「宮城県多賀城高等学校」は本年創立四十周年の節目を迎えます。多賀城中学校体育館をお借りして開校式、第一回入学式からはや四十年の歳月を数え、月日の移ろいの速さを痛感し

ているところです。翔朋会におきましても、学校、PTA、教育振興会とともに式典ほかの記念事業を進めてまいりました。

- 翔朋会役員紹介**
- 会長 及川 佳洋 一回生
  - 副会長 石橋 和雄 二回生
  - 副会長 渡辺 文昭 三回生
  - 副会長 瀬戸口真弓 四回生
  - 副会長 高橋 和人 五回生
  - 監事 武田 三弘 八回生
  - 監事 梅津 英久 二回生
  - 会計 菅原 伸泰 事務室長
  - 書記 針生美由紀 四回生
  - 書記 横山 卓哉 八回生
  - 幹事 大内 昭浩 四回生
  - 幹事 千坂 成也 七回生
  - 幹事 磯 比呂志 八回生
  - 幹事 本郷 和重 八回生
  - 幹事 植杉 淳一 一五回生
  - 幹事 見立屋 雅子 二六回生
  - 参与 小泉 博 校長

題字紹介  
「翔朋」の題字は元本校教諭石山静代先生の筆によるものです

これからも翔朋会は多賀城高校とともに、会員の皆様の心よりどころとなって存在し続けて行くことができるべく、力を集めて行きたいと思えます。

翔朋会会員諸氏の今後一層のご支援ご協力あらんことを切望し、お願いして、ご挨拶とさせていただきます。

### 第37回 翔朋会総会のご案内

日時 平成27年10月17日(土)  
総会 17時～  
四十周年記念祝賀会 18時～  
会場 ホテル・キャッスルプラザ多賀城  
会費 6,000円(事前郵便振込)

- 翔朋会総会及び祝賀会に参加を希望される一般会員(案内状が届いていない)方は、同封のFAX用紙もしくはメール(アドレスはFAX用紙に記載)で事務局へ9/30(水)までにお申込みください。
- 今年度の回生幹事はありません。そのため次年度(平成28年度)の回生幹事が、7・17・27・37・8・18・28・38回生合同になります。

### 事務局からのお知らせ

- ・年会費二〇〇〇円の納入にご協力ください。翔朋会の運営を充実させるため、母校の発展のために使わせていただきます。
- ・来年度から同窓会のHPを開設致します。
- ・HP開設に伴い、紙による会報の発行と郵送を止め、HP掲載に変更致します。
- ・HP掲載に情報発信の迅速化のためですので、ご理解とご協力をお願いいたします。なお、年会費納入の方には紙による会報を従来ど

### ◎今年度の進路状況 (合格者のべ人数)

国公立大学・大学校	47
私立大学	372
国公立短期大学	1
私立短期大学	6
専修(各種)学校・その他	36
就職(公務員)	4
合計	466

・おり送付いたします。卒業後の住所変更等は随時受け付けております。お名前や卒業年度(回生)、変更後の住所をご記入の上、同封のFAX用紙やメールにてご連絡ください。

・事務局の連絡先は  
TEL 022-366-1255  
FAX 022-366-1226  
電子メール chief@tagajo-hs.nswan.ne.jp  
になります。

# 祝・創立四十周年

校長 小泉 博



翔朋会の皆さまにおかれましては、ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より母校の発展にご協力をいただき心から感謝申し上げます。

本校は昭和五十一年四月に開校し、本年創立四十周年を迎えました。誠にめでたうございます。十月十七日には多賀城市文化センターを会場に記念式典を開催します。同窓会総会も同日に予定されており、総会後の懇親会と四十年記念祝賀会とを兼ねて開催しますので、同窓生の皆さまも多数お集まりください。

さて、現役生徒は様々な場面で輝いています。本年三月に仙台市で開催された第三回国連防災世界会議では、多くのパブリック・フォーラムで発表する機会をいただきました。東日本大震災以降、本校生徒が取り組んできた津波波高標識設置活動や災害や減災について学ぶ防災教育、東日本大震災の被害を国内外に発

信する活動などをプレゼンテーションさせていただき、一般社団法人災害産業振興会から「グッド減災賞」(金賞)を頂戴しました。東日本大震災を後世に語り継ぐことは、被災地にある本校にとって使命と云ってよいものです。これからも地域の皆様のご支援を頂戴しながら、活動を継続してまいります。

部活動については本誌に詳細がありますが、水泳・飛込み競技の遠藤朱莉さんが三年連続インターハイ出場という快挙を達成しました。今年も、さらに日本選手権にも出場することになり、これまでの精進が実を結びました。最近団体種目でのインターハイ出場は難しい状況ですが、弓道部女子が昨年の県新人大会で優勝し、一月に鹿児島県で開催された全国選抜大会に出場しました。日々の活動は運動部、文化部ともに活発で、選抜チームの一員で国体や全国選抜大会に出場している生徒もおります。

進学実績は近年充実していますが、今春卒業した三十七回生は大学(短大も含む)への進学率が八〇%となりました。国公立大学への進学希望者は近年増加しておりますが、今年の合格者数は四〇名でした。一方、経済状況を反映して県外の大学を目指す生徒が少ない状況にある中、現役で慶應義塾大学に進学した生徒もおります。今後とも、在校

生には文武両立を目指させるとともに、授業第一を掲げて社会で活躍できる骨太の多高生を育てようと教職員一同努めてまいります。

ところで、昨年度もご紹介しましたが、本校は来年四月に全国二校目となる防災系専門学科「災害科学科」(四〇名定員)を開設します。東日本大震災を後世に伝承することや、災害を科学的に学び自分や周りの人々の「命を守る」ことができる人間を育ててまいります。学習内容は理系の教科を柱にして学校設定科目も設置し、探究型の学習を行います。詳しくは本校のホームページをご覧ください。

創立四十一年目となる来年は、普通科と災害科学科の二学科体制となります。まさに多高は新しい時代を迎えることとなりますが、同窓生の皆様の更なるご支援をお願いしてご挨拶いたします。

## 放送部

### 全国大会の経験

三年五組 佐藤 惇史  
全国高校放送コンテストでは、宮城県の代表として全国優勝を目指し、放送部一丸となって大会に臨みました。二日目にあった準決勝では、他県で制作されたレベルの高い作品を目的ににしました。結果は準決勝には進めませんでした。全国の作品を知りたい機会になったと思

ます。大勢の生徒の皆さん、保護者の方や、先生方から熱い声援をいただき感謝しています。ありがとうございます。三年生の私にとっては今回最後の大会になってしまいました。後輩達には今回の悔しさを生かして発声練習や作品制作を続けてほしいと思います。この度はありがとうございました。

## 吹奏楽部

### 私たちの夏

三年二組 高橋まりな  
八月六日に吹奏楽コンクール宮城大会が行われました。結果発表で東北大会へ選抜する高校として名前が呼ばれたときは嬉しさと胸がいっぱいになりました。多くの方の支えが私たちの力となって悔いのない演奏ができたのだと思います。そして先日東北大会が行われました。全国大会への代表にはなれませんでした。金賞を頂くことができました。今までの努力に花を咲かせることができ良かったです。応援ありがとうございました。

## 水泳部

### 東北大会に出場して

三年一組 伊藤 美穂  
七月十七日、十九日に岩手県で行われた東北大会では、800m自由形に出場しました。結果は20位で予選落ちしてしまいました。自己ベストタイムを出すことができました。最後の800mは今まで泳いでき

た中で一番良い泳ぎができたと思います。東北大会に出場して学んだことを今後を生かしていきたいです。応援ありがとうございました。

## インターハイに出場して

三年一組 遠藤 朱莉  
八月十七、二十日に、京都府で行われた飛込のインターハイに出場してきました。今年最後の総体なので、目標を達成できるように一生懸命練習に取り組んできました。結果は板飛びが13位、高飛びが22位で予選落ちでした。目標を達成することは出来ませんでした。が、沢山の方々に支えて頂いたおかげで、自分の力を出し切ることができました。ありがとうございます。

## 山岳部

### 東北大会に出場して

三年一組 安島 岳史  
山岳部は六月十九、二十一日に岩手山で開催された第一回東北大会に出場しました。残念ながら入賞を逃し、悔いの残る結果となってしまいました。が、自分たちを応援してください。自分たちのおかげで無事に大会を終えることができました。今回の大会で三年生は引退となります。次の世代が必ずや自分たちを超えて、さらなる高みへといてくれることを信じています。最後に、本当にありがとうございました。

# 2015 県高校総体結果

## ☆男子ソフトテニス部

団体戦 多賀城②—1富谷  
2回戦 多賀城1—②仙台西  
3回戦 多賀城1—④石巻工業  
個人戦  
1回戦 多賀城3—④石巻工業  
2回戦 大星組3—④石巻工業  
3回戦 眞壁・清水組④—3石巻北  
眞壁・清水組④—1大河原商  
小林・遠藤組④—1大河原商  
眞壁・清水組0—④東北  
小林・遠藤組0—④東北

## ☆女子ソフトテニス部

団体戦 1—2常盤木 団体初戦敗退  
個人戦 千歳・田村ペア 尾形・岩佐ペア  
佐々木・開保津ペア 初戦敗退

## ☆ラグビー部

2回戦 合同C(多賀城・石巻) 14—33利府

## ☆水泳部

菅原琢磨 予選落ち  
一井浩太郎 予選落ち  
50M自由形 予選落ち  
武田椋祐 予選落ち  
100M平泳ぎ 予選落ち  
伊藤美穂 予選落ち  
400M自由形決勝 第9位  
800M自由形決勝 第6位  
遠藤朱莉 第1位  
女子1M飛板飛込 第1位  
女子3M飛板飛込 第1位  
女子高飛込 第1位

## ☆男子テニス部

100M自由形 予選落ち  
50M自由形 予選落ち  
木村海璃 予選落ち  
200M個人メドレー決勝 第9位  
400M個人メドレー決勝 第9位

## ☆男子テニス部

1R 多賀城0—2榴ヶ岡(負)

## ☆女子テニス部

個人戦 シングルス  
3R進出 瀬戸川純平(二年) 金原龍飛(二年)  
4R進出 赤間 廉(二年) 佐藤日比樹(二年)  
5R進出 日名晴輝(二年)  
ダブルス  
3R進出 瀬戸川純平(二年)・乙坂凌雅(二年)  
折戸 駿(二年)・平井 諒(二年)  
赤間 廉(二年)・佐藤日比樹(二年)  
4R進出 日名晴輝(二年)・菅野凌平(二年)

## ☆女子テニス部

団体戦 1回戦 多賀城②—0中新田  
2回戦 多賀城②—0仙台二  
準々決勝 多賀城1—②東陵  
個人戦 シングルス  
齋藤千紗 ベスト16  
九嶋夏実 ベスト32  
田畑育実 4R敗退  
小野明日香、小野寺瑞季 3R敗退  
ダブルス  
小野明日香・小野寺瑞季ペア ベスト32  
木村 優・佐藤萌那ペア ベスト32  
九嶋夏実・三浦範子ペア 3R敗退  
5回戦 齋藤千紗・田畑育実⑥—3 須藤久保(仙台一) ※ベスト8

## ☆山岳部

団体男子 第3位  
団体女子 第3位

## ☆男子バスケットボール部

仙塩地区総体結果  
予選リーグ  
・多賀城80—54松島×  
・多賀城58—80仙台○  
・代表決定トーナメント  
×多賀城77—80仙台育英○

## ☆女子バスケットボール部

地区総体で  
仙台二華高校に④—61  
仙台第一高校に④—66で敗退しました。

## ☆卓球部

仙塩地区総体結果  
【男子】  
団体戦予選トーナメント  
対高専広瀬 3—2 勝  
対利府 0—3 負  
敗者復活戦  
対富谷 1—3 負  
対仙台工 2—3 負

## ☆剣道部

男子団体  
対塩釜高 ×  
対東北高 ×  
予選リーグ敗退

## ☆柔道部

女子重量級  
2回戦 長谷(多賀城)対 遠藤(柴田)  
合わせ技で2回戦敗退(ベスト8)

## ☆男子バドミントン部

団体戦 多賀城2—3築館 1回戦敗退  
個人戦 シングルス  
曾根 天 3回戦敗退  
伊藤隆祐、安藤裕生、斎藤七星 2回戦敗退

## ☆女子バドミントン部

団体戦 多賀城3—0仙台白百合  
多賀城3—1富谷  
多賀城0—3聖ウルスラ学院英智  
(3回戦敗退) ベスト16

## ☆サッカー部

地区総体  
多賀城3—1松島  
多賀城0—2宮城工  
多賀城1—0泉  
多賀城3—0仙台二華  
グループ2位 県大会出場

## ☆ソフトボール部

多賀城0—11小牛田農林(負)

## ☆水泳部

伊藤美穂 800M自由形 予選落ち  
遠藤朱莉 女子高飛込 第1位

## ☆山岳部

第6位

## 今年度の異動

- ★退職者  
高橋 和照 教諭  
久野 千枝 教諭  
阿部 友紀 教諭  
尾口 良信 教諭  
小川 進 教諭  
後藤 忠一 技師
- ★転入者  
高橋 和照 教諭 再任用  
金澤 俊範 教諭 名取(定)高から  
佐藤 裕之 教諭 古川黎明高から  
國府 正之 教諭 塩釜高から  
角田 淳 教諭 仙台工業高から  
菅原 淳史 教諭 宮城農業高から  
木村 智宏 教諭 宮城水産高から  
菅原 伸泰 事務室長 教育庁総務課から  
石垣 怜美 主事 新規採用  
松尾 智子 講師
- ★転出者  
三品 裕昭 教諭 仙台西高へ  
片寄 昌子 教諭 小松島支援学校へ  
早坂 利昭 事務室長 総合教育センターへ  
高橋 結子 主事 石巻市立大街道小へ  
伊藤 潤一 非常勤講師  
佐々木希望 非常勤講師  
佐藤 壮 非常勤講師  
櫻井 義明 キャリアアドバイザー  
横田 薫 情報化支援員
- ★転入者  
近藤 彩香 非常勤講師  
佐藤 美穂 非常勤講師  
後藤 忠一 臨時職員  
近藤 明子 臨時職員  
櫻井 悟 パート職員  
菅野 哲夫 キャリアアドバイザー  
今野 嘉雄 情報化支援員

平成26年度 翔朋会一般会計 決算報告

平成26年4月1日～平成27年3月31日

- 1. 収入の部 2,481,905円
- 2. 支出の部 1,678,084円
- 3. 残 高 803,821円 (次年度へ繰越)

1. 収入の部 (単位:円)

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	備 考
会 費	1,540,000	1,540,000	0	卒業時入金金 3,600円×273人 卒業時金費 2,000円×273人
年度会費	2,000	242,500	240,500	同窓生より振込
繰越金	699,292	699,292	0	前年度より繰越
DVD売上費	0	0	0	
雑収入	61	113	52	預金利息
合 計	2,241,353	2,481,905	240,552	

2. 支出の部

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	備 考
1. 運営費	40,000	28,784	▲ 11,216	
会議費	20,000	4,320	▲ 15,680	役員会会議費
通信費	15,000	8,774	▲ 6,226	切手代など
需用費	5,000	15,690	10,690	紙、ファイルなど
2. 事業費	2,000,000	1,549,300	▲ 450,700	
総会費	100,000	72,978	▲ 27,022	総会補助
会報費	1,350,000	1,238,416	▲ 111,584	会報発行・会員宛会報発送
補助費	350,000	87,000	▲ 263,000	遠征費補助
記念品費	170,000	150,906	▲ 19,094	卒業証書ホルダー
慶弔費	30,000	0	▲ 30,000	
3. 予備費	101,400	0	▲ 101,400	
4. 繰り出し金	100,000	100,000	0	周年行事のための積立金として
合 計	2,241,400	1,678,084	▲ 563,316	

平成27年度 翔朋会一般会計 予算書 (案)

- 1. 収入の部 2,373,900円
- 2. 支出の部 2,373,900円

1. 収入の部 (単位:円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
会 費	1,568,000	1,540,000	28,000	3,600円×280人 卒業時入金金 2,000円×280人 卒業時金費
年度会費	2,000	2,000	0	同窓生より振込
繰越金	803,821	699,292	104,529	前年度より繰越
雑収入	79	108	▲ 29	預金利息
合 計	2,373,900	2,241,400	132,500	

2. 支出の部

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
1. 運営費	40,000	40,000	0	
会議費	15,000	20,000	▲ 5,000	役員会会議費
通信費	15,000	15,000	0	切手代など
需用費	10,000	5,000	5,000	紙、ファイルなど
2. 事業費	2,120,000	2,000,000	120,000	
総会費	100,000	100,000	0	総会補助
会報費	1,420,000	1,350,000	70,000	会報発行・会員宛会報発送
補助費	400,000	350,000	50,000	遠征費補助
記念品費	170,000	170,000	0	卒業証書ホルダー
慶弔費	30,000	30,000	0	
3. 予備費	13,900	101,400	▲ 87,500	
4. 繰り出し金	200,000	100,000	100,000	周年行事のための積立金として
合 計	2,373,900	2,241,400	132,500	

平成26年度 翔朋会 事業報告

- 平成26年6月12日(木) 第1回役員会
- 9月12日(金) 会報発行
- 10月9日(木) 第2回役員会
- 10月18日(土) 第36回翔朋会総会  
時間:総会18時～、懇親会18時30分～  
場所:ホテルキャッスルプラザ多賀城  
会費:4,000円(36回生 1,000円)  
幹事:6・16・26・36回生
- 平成27年2月18日(火) 第3回役員会
- 2月27日(金) 翔朋会入会式(第37回生)
- 5月1日(金) 会計監査

平成27年度 翔朋会 事業計画 (案)

- 平成27年6月16日(火) 第1回役員会
- 9月10日(木) 第2回役員会
- 9月11日(金) 会報発行
- 10月17日(土) 第37回翔朋会総会  
(創立四十周年記念式典)
- 平成28年2月 第3回役員会
- 2月29日(月) 翔朋会入会式(第38回生)
- 5月 会計監査

平成26年度 翔朋会特別会計 決算報告

1. 収入の部 (単位:円)

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	備 考
繰入金	100,000	100,000	0	周年行事のための積立として一般会計より繰入
繰越金	2,903,352	2,903,352	0	前年度繰越金
雑収入	458	470	12	預金利息
合 計	3,003,810	3,003,822	12	



2. 支出の部

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	備 考
記念事業費	25,000	25,000	0	40周年記念事業会計へ拠出
合 計	25,000	25,000	0	

監査報告

平成26年度翔朋会会計に関する収支帳簿と証書類を監査した結果、適正に処理されていることを認めます。

平成27年5月1日

監事 武田 三弘   
 監事 高橋 和人 

平成27年度 翔朋会特別会計 予算書(案)

- 1. 収入の部 3,179,290円
- 2. 支出の部 850,000円
- 3. 残 高 2,329,290円

1. 収入の部 (単位:円)

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
繰入金	200,000	100,000	100,000	周年行事のための積立として一般会計より繰入
繰越金	2,978,822	2,903,352	75,470	前年度繰越金
雑収入	468	458	10	預金利息
合 計	3,179,290	3,003,810	175,480	

2. 支出の部

項 目	本年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
記念事業費	850,000	25,000	825,000	40周年記念事業会計へ拠出
合 計	850,000	25,000	825,000	

※宮城県多賀城高等学校創立40周年記念事業予算へ平成26年度は25,000円、平成27年度は850,000円拠出